

県内産業界等へのヒアリング調査結果

1 概要

- (1) 調査対象
県短生の採用実績や今回の論点等を踏まえ、7社を選定

業種	県短生の採用実績
官公庁	毎年採用
金融機関	毎年採用
商社	採用実績あり
IT（情報処理、ソフトウェア開発）	無
観光	無
小売	無
サービス業	無

- (2) 調査実施期間
令和6年9月～10月

2 ポイント

- (1) 学生に求める力・専門知識・資格
四年制大学生、短期大学生に限らず、採用に当たっては、資格の有無より人間としての資質（特にコミュニケーション力）を重視する傾向にある。
- 以下、関連意見
- ・ 最近の学生は学ぶ力は長けているが、思考力が乏しく感じる。
 - ・ エントリーシートは上手く書けていても、面接の際、深掘りした質問に対応できない学生もいる。
 - ・ どんなに優秀でもルールを守れないと信用を失墜する。
 - ・ 入社後、教育にそこまで時間がかけられないので、主体性や実行力があつた方がよい。
 - ・ アクティブラーニングやリベラルアーツを積んでいる人は、活躍している印象がある。
 - ・ 海外と仕事をする場合、「言わなくても分かってほしい」では伝わらない。会話の中で課題を解決する力が必要。
 - ・ 社会人にスムーズに適応できるようにパソコンの基礎的なスキルを身に付けていると良い。
 - ・ 海外との取引を考慮した際に、英語などの語学が役に立つ。
- (2) 県短に取り組んで欲しい教育内容
四年制大学生、短期大学生に限らず、上記「(1) 学生に求める力・専門知識・資格」が備わるような教育内容を期待する意見が多く見られた。
- 以下、関連意見
- ・ 同じ環境にいと視野が狭くなりがちなので、例えば他の大学との交流があればよいと思う。
 - ・ 最近はずームによる商談も多い。直接対面する面談とは違うので、そういった経験も積んだ方がよい。
 - ・ 短期大学は2年間しかなので、ビジネススキルを磨くような就職に特化したコースなどがあつてもよいと思う。
 - ・ 企業のSNS発信は、個人のSNS発信とは視点が違うので、学校でも教えてほしい。
- (3) その他
- ・ 採用に当たって男女の区別はしていない。
 - ・ 最近の学生は、仕事内容よりプライベートの充実を重視する傾向がある。
 - ・ 採用試験を受ける時は、もっと企業研究をしてほしい。
 - ・ 県外企業への就職者が多く、人材確保に苦労している。